

いつまでも自由でいきいきと

エイジレス・ライフ表彰に濱津百合子氏

内閣府が表彰するエイジレス・ライフ実践事例に、阿蘇市老人クラブの女性副部長を務める濱津百合子氏（東3区）が選ばれ10月13日、市役所で受賞伝達式が行われました。

濱津氏は、26年以上継続している日舞の指導や、認知症をテーマにした劇を各地で公演するなど、高齢者の健康や生きがいづくりに貢献されており、その功績が認められたものです。

「この受賞を機に、気を入れ直してみんなで仲良く楽しく取り組んでいきたい」と喜びを語りました。



市役所で受賞伝達を受けた濱津氏（左）

わだい



完成した草泊まり。
夜には星空観察などを楽しみました。

草泊まりの寝心地は最高！

内牧小で草泊まり製作体験

内牧小学校の4年生48名が10月6日、北外輪山にある観光施設で地域住民らとともに草泊まり製作に取り組みました。

草泊まりは、集落から採草地に通う労力を省くために、野営を目的に作られていたもので、昭和30年代まで阿蘇地方でも活用されていました。

地域住民との協力により1日かけて11基の草泊まりをつくり上げた子どもたちは、その夜実際に宿泊。先人の知恵を肌身に感じながら、大自然に囲まれた阿蘇での一夜を満喫しました。

馬との触れ合いを楽しむ

きぼうの家でホースセラピー教室

馬との触れ合いを通して、地域との交流を深めようと10月8日、障がい者支援施設阿蘇きぼうの家でホースセラピー教室が開かれ、赤水保育園の園児と保護者約45人が参加しました。

インストラクター指導のもと、子どもたちはセラピー馬にまたがり、園内を周遊。普段体験できない乗馬に、興奮気味に「楽しかった」と喜んでいました。

この日は、ポン菓子の製作行程を見学するなど、地産地消の取り組みなどについても学習しました。

わだい



乗馬やエサやりなど、セラピー馬とのふれあいを楽しみました。



表彰

法務局阿蘇大津支局の白浜支局長から感謝状を受け取る和田氏（左）

人権意識の高揚に尽力

和田七男氏に法務大臣から感謝状

人権擁護委員を10月1日をもって退職された和田七男氏（北2区）に、法務大臣から感謝状が贈呈され10月14日、市役所で伝達式が行われました。

和田氏は平成21年に同委員の委嘱を受け、2期6年半にわたり在任。特に、小中学生を対象に行う人権の花運動をはじめとした子どもたちの人権意識高揚を図る取り組みを積極的に行うなど、子どもの人権部会長として、人権に関する相談や啓発活動に尽力されました。

神楽の祭典、観客魅了

第24回神楽フェスティバル

年に一度の神楽の祭典「第24回神楽フェスティバル」が10月3日・4日、道の駅「波野」神楽苑で開かれ、両日合わせて2700人を超える観客で賑いました。

ことは、本市の中江・横堀両岩戸神楽保存会と波野小子ども神楽部、波野中神楽クラブを含む10団体が出演し、さまざまな演目で観客を魅了。両神楽保存会が披露した「天のメ」では、日本神話に登場する神「スサノオノミコト」が高天原へ行くようすを演じ、高さ13歳の青竹に登ると、観客から大きな声援が沸き起こりました。

わだい

中江岩戸神楽保存会による「天のメ」での、縁起餅の振る舞いのようす。



古城5の1区がコミュニティ助成事業で地域活動備品を整備



整備されたイス

地域社会の健全な発展を図ることを目的とした宝くじの助成金により、古城5の1区が地域活動時に不足していたテーブル、イス、厨房機器などを公民館に整備しました。

このコミュニティ助成事業は、社会貢献広報事業費を財源として一般財団法人自治総合センターが助成を行うものです。

地域活動備品の整備を行ったことにより、同地区ではコミュニティ活動が一層活発になるものと期待されます。



エコな暮らしの実現目指して

阿蘇市 eco コンサート

ごみの減量を図る3R（リデュース、リユース、リサイクル）推進月間にちなみ、親子のためのecoコンサートが10月2日、就業改善センターで開かれ、約70人の来場がありました。

西原村を拠点に活動する音楽デュオグループ「ピエント」による、阿蘇の自然を音楽で表現したコンサートのほか、サツマイモの皮を剥かずに作るエコお菓子の試食、ごみ減量DVDの放映などがあり、参加した親子は、エコな暮らし方を改めて考える一日となりました。



わだい

ピエントコンサートのようす



わだい

疾走する射手に歓声を送る観客

軽やかに疾走！

阿蘇の農耕祭事「田実祭」流鏝馬奉納

豊作を感謝する行事として行われる国指定重要無形民俗文化財「阿蘇の農耕祭事」の一つ、田実祭が9月25日、阿蘇神社で行われ、流鏝馬が奉納されました。

阿蘇流鏝馬射手会（工藤武好会長）の10人が、140以上の神社参道を疾走。設置された3つの的に向かって次々に矢を放つと、沿道の観客から大きな声援と拍手が送られました。

23日には国造神社でも田実祭の神事が行われ、地元の子どもたちによる「願の相撲」が奉納されました。

『海外アーティスト招へい事業 in 阿蘇』ってナニ？

芸術家を招いて、「阿蘇」の魅力の世界に発信！

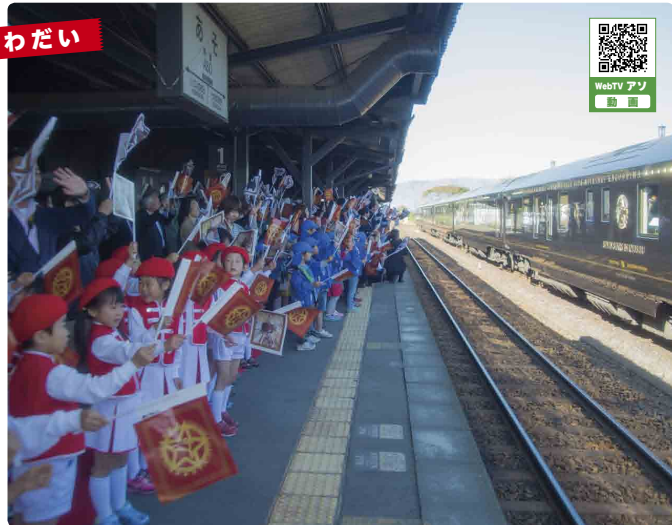
この事業は、海外で活躍する芸術家を阿蘇に招き、阿蘇の魅力や情報を世界へ広くPRすることを目的に、熊本県と市町村の事業として昨年引き続き行われているもので、阿蘇市のほか、南小国町、小国町、産山村、高森町の全5市町村で展開されています。

阿蘇市では左記の3名が活動しており、11月4日までの70日間にわたり、それぞれのアトリエで創作活動を行っています。11月1日には高森町において成果発表が行われました。

活動終了後には、阿蘇で制作した作品の展覧会や演奏会、講演会などを実施することや、滞在の成果を新聞などのメディアで発信することが義務付けられており、阿蘇を全世界にPRしていただくこととなります。

【芸術家の皆さん】

- アンジエラさん（国籍：コスタリカ、芸術分野：アニメーション・イラストレーション）
- ケーティさん（国籍：ニュージーランド、芸術分野：空間アート、彫刻）
- キンスレーさん（国籍：スリランカ、芸術分野：空間アート、絵画、彫刻）



「ななつ星」を笑顔でお見送り

クルーズトレイン「ななつ星」2周年

豪華列車クルーズトレイン「ななつ星in九州」の運行開始から2年を迎えることを記念し10月16日、JR阿蘇駅と宮地駅で「笑顔いっぱい777プロジェクト」と題したイベントが行われました。

駅の構内では宮地保育園の園児がマーチング演奏を披露し、黒川保育園と坂梨保育園の園児や地元住民らが旗を持って笑顔で見送りました。

この列車は週に2回、JR阿蘇駅に止まり、停車中は草千里を見学するバスツアーも行われています。

中秋の名月のもと茶会&音楽会

第19回阿蘇観月茶会



第19回阿蘇観月茶会が9月26日、農村環境改善センターで開かれました。

阿蘇市文化協会(山部七生会長)が毎年催しているもので、こしも市内外から多くの来場があり、秋の夜のひとときを楽しみました。

お茶席(亭主)では表千家の菅正子さん(的石)らが、的石の御前水で点てたお茶とお菓子で接待し、また、ミニコンサートでは昨年の全国箏曲コンクールで優勝した二十五弦箏演奏家の松下知代さん(熊本市)が見事な演奏を披露し、観客を魅了しました。

市役所からのお知らせ

阿蘇市人権擁護委員の皆さんをご紹介します

人権啓発課 ☎ 22-3206

●阿蘇市人権擁護委員(敬称略)

市長からの推薦により、法務大臣から委嘱を受けた阿蘇市人権擁護委員は、10月1日から右記の方々です。

人権擁護委員は地域の皆さんから人権相談を受けたり、さまざまな人権に関する啓発活動などの取り組みを行っています。

氏名	行政区	氏名	行政区
鎌倉 善光	狩尾3区	池部 眞智子	西2区
佐藤 和夫	竹原	坂梨 征子	桜町
佐伯 省五	山田	園田 みよ	西下原
家入 絹代	内牧2区	岩瀬 國興	横堀
甲斐 孝博	古神3区		